

# 2015年度事業報告

園芸文化研究所の担当者会、草花検定、オープンガーデン、公開講座について報告する。

## 2015年度園芸文化研究所担当者会構成

〈委員長・招集者〉小林幹夫(社会園芸学科教授)

澤登早苗(社会園芸学科教授)、

樋口幸男(社会園芸学科准教授・社会園芸学科学科長)、

宮内泰之(社会園芸学科准教授)、澤田みどり(社会園芸学科特任准教授)、

本多洋子(園芸文化研究所准教授)、藤田智(現代社会学科教授)、

片倉芳雄(現代社会学科教授)、安楽岡秀夫(研究機構事務室担当課長)、

土屋昌子(研究機構事務室)

〈担当者会議事報告〉

## 2015年度第1回園芸文化研究所担当者会

日時:4月16日(木) 12:30~13:10

会場:A203

出席:小林、片倉、樋口、宮内、澤田、本多、澤登(事務)安楽岡、土屋

欠席:藤田

### 1. 協議

#### 1)年間予定

- ・助成研究:補正予算案作成の段階で、申請額に対し約78%の圧縮案となった。

- ・『園芸文化』12号

担当 本多、土屋 スケジュールについては第2回会議で検討する。

#### 2)予算案:第2回会議で検討

#### 3)Garden Guidebookの配布について

園芸の活動について学内で情報共有をはかるため専任教員に配布する。  
入試等でも活用してもらうよう依頼する。(50部500円で販売済み)

## 2. 報告

1) 公開講座 2014年度春/秋 2015年度春の応募状況 別紙参照

2) 草花検定・オープンガーデン

オープンガーデンで配布する『ガーデンガイド』を園芸教育室から発行した。

専任教員に配布する。頒布価格500円、学生・教職員には300円で販売する。

3) 野村和子先生講演会 5月21日(木)

4) 蓼科ガーデン 30周年記念事業

・7月4日(土)感謝会 ・出欠確認 バス2台(大学⇄ガーデン)

・記念誌 (NHK趣味の園芸編集部の協力により連載記事(2014年4月～2015年12月、隔月発行)の合本発行

5) 『園芸文化』11号を専任教員に配布、残部わずか。

6) G L C 5月こどもまつり 恵泉からの参加団体多数。

年間予定:9/26(土)「多摩市みどりのルネッサンス」シンポジウム

プレゼン:グリーンライブセンター25周年「今までの歩みとこれからの歩み」

・配布資料の確認に留まった。

## 3. その他

・オーガニックカフェの今後の運営方針について、澤登先生が花と平和のミュージアム実務委員会で、これまでの経緯と今後の方向性について話をする事とする。

・日本花卉装飾現代史(『フローリスト』連載 2015年5月号より)

今の時点で、お話を聞いておきたい方(宇佐節子先生、森山倭文子さん、植松陸子さん、秋田稔先生等)から聞き書きを始めるなど、できるところから恵泉の装飾の歴史について調査を始めたい(懇談)。

## 2015年度第2回園芸文化研究所担当者会

日時: 5月14日(木) 12:30～13:10

会場: A203

出席:片倉、澤登、樋口、宮内、澤田、本多、(事務)安楽岡、土屋

欠席:小林、藤田

### 1. 報告事項

- ・地域連携:グリーンライブセンター GW・こどもまつりに小林先生、学生参加。

7/4(土)あさがお市 多摩市より参加要請。院2近藤さんほか参加予定(地域連携の一環・継続)

- ・7月18日(土)社会園芸学科2年生 蓼科ガーデン見学(約70名)
- ・恵泉土曜クラブ発足(担当:澤田・小澤)多摩市 認知症予防事業と連携  
毎週土曜日15回/年 カフェの利用も検討していく。

### 2. 議事

#### 1) 予算案

- ・研究助成

研究所の年間基本方針に沿ったものにしていくべきである。

恵泉でやっていく必然性のあるもの、園文研設立の趣旨に沿ったものを検討していく。

- ・園文研としての講演会などの企画について

スプフェス・恵泉祭ではよい企画が重なってしまう。

教職員、学生、スタッフ等が学べる機会を事業計画のなかにとり入れていくスタイルが実際的か。

#### 2) 蓼科ガーデン30周年記念行事への出席について

7/18(土)の学科学生引率後、2週間をおいての見学になるが、学園行事としてできるだけ参加する。

職員はSD(Staff Development)として参加要請(呼びかけ)がある予定(安楽岡)

終日参加予定:宮内、澤田、本多、部分参加:澤登

なお、出発時間は7:30頃が適当。8時では到着時間は昼頃になる可能性が高い。(提案する)

### 3. その他

- ・恵泉土曜クラブの物置きとして体育館裏の部屋を確保した。ガーデン

クラスルームなどもすでに利用している。その他の活動のための物置スペースもあるので活用されたい。(澤田)

- ・南野で作業中にてゴミの処理について、北側門にあるごみ置き場には置かないように管財より連絡があった。グラウンド向こうの堆肥置場までその都度持っていくのは不便。キッチンガーデンのコンポストを利用するなど対応する。事務:管財担当者に指示内容を確認する。
- ・オーガニックカフェについては19日(火)に新メンバーによるスタートを検討している。参加希望者があればアナウンスを依頼したい。  
現在の4年生は週2回の担当が限度など、これまでの方針と相容れない方針で指導に苦慮。(澤登)

### 2015年度第3回園芸文化研究所担当者会

日時:6月23日(火) 12:40~13:30

会場:A203

出席:小林、片倉、澤登、宮内、本多、藤田、(事務)安楽岡、土屋

欠席:樋口、澤田

#### 1. 報告事項

- ・蓼科ガーデン開園30周年記念感謝会(7/4) 参加予定数 97名  
参加希望者は至急大谷さん(大学事務局)まで申し込みを行う
- ・「多摩市みどりのルネッサンス・シンポジウム2015」展示 TGLC25周年記念
- ①「がん哲学」グループの参加:講師 佐谷先生(新渡戸稲造に関する講演)9/26(土)  
バックアップは恵泉が行うが(大学共催)、徐々に市民中心の展開としていきたい。  
三者連携(多摩市、ボランティア連絡会、恵泉女学園大学)の枠組みの中で行われている。
- ②多摩市グリーンルネッサンス(2015)のキックオフとしてのイベントには「園芸」として参加する。園芸教育担当者会で検討(多摩市審議委員 宮内先生)。9月22日(月)~26日(土)

## 2. 議事

### 1)『園芸文化』12号

原稿締切 6月12日(金)→ 9月24日(木)

提出先 研究機構事務室

公開予定日 2015年8月28日(金)→ 11月下旬をめどとする。

表紙絵 角田先生に依頼

掲載記事:

- ①野村先生講演会の原稿化「野生種から現代バラへの道のり」2015/5/21
- ②田中純子さん(練馬区立牧野記念庭園記念館学芸員)投稿
- ③蓼科ガーデン開園30周年記念会 小澤さんに原稿依頼
- ④多摩市グリーンライブセンター30周年によせて 小林先生執筆
- ⑤その他、課外園芸で行っている活動の中から選び、スタッフに紹介文を依頼する。

朝顔市、オープンガーデン、駅前花壇、里山等

### 2)地域連携の相関図を描く

大学に関わる教員が様々な形で多摩市と関係をもっているが、一元的な情報がない。

「地域連携」として共通の認識を持ちたい。

## 2015年度第4回園芸文化研究所担当者会

日時:7月30日(火) 11:00~11:40

会場:A206

出席:小林、樋口、(事務)安楽岡、土屋

欠席:片倉、澤登、宮内、本多、藤田、澤田

### 1. 報告事項

- ・蓼科ガーデン開園30周年記念感謝会(7/4)参加者99名  
園芸業界ほか関係者 NHK出版(中野氏)、RHS J(日暮氏)、  
住友化学園芸(草間氏)、  
国立信州高遠青少年自然の家(渡辺氏)ほか
- ・社会園芸学科蓼科ガーデン見学(7/18)参加者約80名 集合八王子7:30

・同窓会蓼科ガーデン見学(7/10)参加者 約40名

## 2. 議事

### 1)『園芸文化』12号

原稿締切: 9月24日(木)

提出先: 研究機構事務室

公開予定日: 11月下旬をめどとする。

表紙絵: ヤブツバキ 解説:樋口

掲載記事

①野村先生講演会の原稿化「野生種から現代バラへの道のり」2015/5/21

②「石井勇義と牧野富太郎の友情—練馬区立牧野記念庭園記念館の企画展を開催して—」田中純子(学芸員)

③蓼科ガーデン開園30周年記念会 小澤文字

④多摩市グリーンライブセンター25周年によせて (小林)

⑤恵泉園芸文化誌(執筆者)題材

花(樋口)シンテツポウ 果樹(小林) 野菜(藤田) 樹木(宮内)

その他、課外園芸で行っている活動の中から選び、スタッフに紹介文を依頼

朝顔市、オープンガーデン、駅前花壇、里山等

### 2)地域連携の相関図を描く

問い合わせをアンケート形式でまとめる(小林・事務)

### 3)その他 花と平和のミュージアム:利用法について

## 2015年度第5回園芸文化研究所担当者会

日時:10月8日(木)12:30~13:20

会場:A203

出席:小林、片倉、樋口、宮内、澤田、(順不同)(事務)安楽岡、土屋

欠席:澤登 藤田 本多

### 1. 報告事項

#### 1)地域連携 グリーンライブセンター25周年記念行事(小林・澤登)

・展示スペースは広がったが、参加団体の掲示スペースは決められてい

た。敬老の日のイベントと重なり、人の流れがそちらに行っていた。  
シンポジウムは盛況だった。

- ・記念シンポジウムの企画段階の経緯が不明。多摩市の公園緑地課、公園課部長と事後、協議する機会を持った。恵泉は専門領域で三者連携のモデルになっている。相互連携を確認し連絡不足を補う。[分担確認]小林:「ボランティア協議会」、宮内:「ルネッサンス協議会」に参加。

2)園芸文化12号 原稿メ切9月24日(木)延期

## 2. 議事

1) 2016年度研究助成

メ切 11/12(木)

今後、科研につなげる。

プロジェクトテーマ:(例)恵泉大学(恵泉女学園)の園芸史

2)その他

## 2015年度第6回園芸文化研究所担当者会

日時:11月30日(木)12:30～

会場:J205

出席:小林、片倉、樋口、宮内、澤田、(順不同)(事務)安楽岡、土屋

欠席:澤登 藤田 本多

### 1. 報告事項

- ・園芸文化12号 原稿締切 11月19日(木)

### 2. 議事

1) 2016年度研究助成

予算縮小が見込まれる現状と投稿本数の増加に伴い、研究機構運営会議にて審査基準(ガイドライン)案と実施が提案された。グループ研究については、これを満たすよう回答する。

- ・継続は2年を限度とする。
- ・応募条件として、前年度の報告書の提出を必須とする。
- ・研究代表者1人につき、課題1本とする。

2)その他

添付資料 2016年度研究助成申請一覧(11/13集計)  
研究計画申請書(園文研 グループ研究)  
審査に関するガイドライン(案)研究機構運営会議資料

〈地域連携(公開講座)〉

多摩市立グリーンライブセンター連絡推進協議会 年11回開催

小林幹夫(会長)、安楽岡秀夫(地域連携室長)出席。

2015年度は、イベント・講座と、多摩市・多摩市グリーンボランティア連絡会・恵泉女学園大学の三者の協働事業としての中長期ビジョンについて、主に話し合われた。

〈オープンガーデン〉

実施日程

第4回 5月9日(土)

第5回 10月3日(土)

第6回 2016年3月5日(土)

- ・各回毎にアンケート調査を実施
- ・オーガニックカフェの共催 オーガニックカフェのティーセット付きで入園料500円とする。(チケット制)



## 〈草花検定〉

### 実施日程

第6回 恵泉草花検定「2015年 春季」 9月19日(土)

合格発表 10月1日

第7回 恵泉草花検定「2015年 夏秋季」 2016年3月12日(土)

合格発表3月24日

\*実施案内、出題候補植物リスト参照



認定証〈2級〉



認定証〈3級〉

※認定証は級によってデザインが変わります

## 第6回 恵泉草花検定「2015年度春季」のご案内

### はじめに

恵泉女学園大学では、皆様に身の周りにある花壇に咲いている草花をもっと楽しんでもらうため、草花検定をはじめました。最も易しい5級から難易度の高い1級までの5つのレベルを設けています。2013年3月に第1回恵泉草花検定「2012年度夏-秋季」5、4級を実施し、その後、第3回「2013年度夏-秋季」から3級が加わりました。そして、第6回「2015年度春季」から2級が加わります。級が上がるにつれて、出題候補数や出題項目が増えていきます。

名前を覚えることは、草花の性質、生態、さらには栽培や花壇デザインに関する知識・技術の習得への入り口になります。受験に際して学歴や年齢制限等はありません。趣味として園芸を楽しむ方はもちろんのこと、ガーデナーや造園家を目指す方々も、勉強の目標として是非ご活用ください。多くの方が花壇を訪れ、草花をよく観察し、その正しい名前を覚えていただけることを願っています。

### 1. 恵泉草花検定概要

#### 1) 年間の検定実施回数と認定証の発行

検定は「春季」と「夏秋季」の2季に分けて行い、2季とも合格した方には認定証（有料）を発行します。1季のみの合格者には通知書を発行します。

なお、1級の検定試験につきましては、来年度以降に順次実施していく予定です。

#### 2) 出題形式

各級の出題候補の植物種類数、出題数、出題内容および合格の基準を下記の表に示しました。2季とも同じ形式で試験を行います。各級の出題候補の植物に関する情報は、大学公式サイトに掲載されています。（大学公式サイト→公開講座（右下）→園芸文化研究所→恵泉草花検定）

<http://www.keisen.ac.jp/extension/research/gardening/examination/kusabana/>

なお、2014年度夏秋季から、分類を新エングレー体系からAPGの分類体系に変更しました。それに従い、出題候補植物リストも、植物名の五十音順から分類（科）順に配列しなおしました。ただし、当分の間、旧科名でも正解とします。

#### 3) 試験方法

各級の出題候補の中から植物の写真が提示され、それに該当する植物名や科名を記入していただきます。解答に際して、「和名」、「科名」、「学名」、「英名」は大学公式サイトに提示された名称とします。

（表）各級の出題形式と合格基準

級	テーマ	出題候補種類数	出題数	出題内容	合格の基準
5	これだけは、 ぜひ知って欲しい草花	20	20 <small>(15問から変更しました)</small>	「和名」	90%以上の正解
4	暮らしの中の身近な草花	40	25	「和名」	90%以上の正解
3	ガーデナーへの入り口 コミュニティーガーデンの リーダーを目指して	80	40	「和名」、「科名」	90%以上の正解
準2	草花を通して広がる 海外への扉	80	40	「和名」、「科名」 「英名」	80%以上の正解
2				「和名」、「科名」 「英名」、「学名」	80%以上の正解
1	これがとれれば 草花プロフェッショナル	120	40	「和名」、「科名」、 「英名」、「学名」	80%以上の正解

選定植物、植物名等は、定期的に見直します。

## 2. 2015年度春季実施概要(5・4・3・2級共通)

### 1) 日時

2015年9月19日(土)

級	受付	入室	試験説明	試験時間
5、4	9:00～9:45	9:00～9:45	9:45～10:00	10:00～10:15
3				10:00～10:30
準2、2				10:00～11:00

(※入室の時間内に試験会場に入室・着席して下さい。試験の説明をはじめます。

試験開始後は入室できません。)

### 2) 試験会場

恵泉女学園大学J棟202教室

### 3) 実施する級

「春季」5級、4級、3級、準2級、2級 (いずれかひとつの級を選択してください)

### 4) 申込締め切り

2015年9月9日(水) 必着

### 5) 検定料

\*一般…5・4級1,000円、3級2,000円、準2級・2級3,000円

\*恵泉女学園の学生・生徒…5・4級500円、3級1,000円、準2級・2級1,500円

### 6) 合格発表

2015年10月1日(木)から10月14日(水)まで大学公式サイトで、合格者の受験番号を発表します。発表後、合格者のみに通知書を送ります。

## 3. 申込・振込方法および問い合わせ先

### 1) 申込用紙を大学公式サイトからダウンロードするか、または、大学研究機構事務室にて入手し、次の方法でお申し込み下さい。

・eメールに添付して送付：[engei@keisen.ac.jp](mailto:engei@keisen.ac.jp)

・FAXで送付：[042-376-8634](tel:042-376-8634)

・郵送：[〒206-8586](tel:03-206-8586) 東京都多摩市南野2-10-1 恵泉女学園大学 園芸教育室(担当 菊地)

・大学に持参：[大学研究機構事務室\(公開講座受付窓口\)](#)にご提出下さい。

\*ご提出いただいた個人情報は、恵泉草花検定に関する事務手続き以外には使用致しません。

### 2) お申し込み後、検定料をお振込み下さい。

\*一般…5・4級1,000円、3級2,000円、準2級・2級3,000円

お振込先：三菱東京UFJ銀行 世田谷支店 普通 0622578 学校法人恵泉女学園

4月1日以降9月9日までに上記へお振り込み下さい。

振込名義人は、*クハナ*+お名前(例 *クハナケンノカ*)とご記入下さい。

お振り込みの際の手数料は、ご本人様のご負担でお願い申し上げます。

\*恵泉女学園の学生・生徒…5・4級500円、3級1,000円、準2級・2級1,500円

学生は9月17日までに、大学庶務課会計にて支払って下さい。

生徒は4月1日以降9月9日までに、上記へお振り込み下さい。

### 3) お申し込み及びお振り込みされた方には、受験票をお送りします。受験票が前日までに届かない場合は、eメールかFAXで上記のアドレス・番号にお問い合わせ下さい。

## 4. 当日の持ち物

筆記用具、受験票(恵泉女学園の学生は学生証、生徒は生徒手帳をお持ち下さい。当日受付で受験票を渡します。)

## 第7回 恵泉草花検定「2015年度夏秋季」のご案内

### はじめに

恵泉女学園大学では、皆様にも身の周りにある花壇に咲いている草花をもっと楽しんでもらうため、草花検定をはじめました。最も易しい5級から難易度の高い1級までの5つのレベルを設けています。2013年3月に第1回恵泉草花検定「2012年度夏-秋季」5級、4級を実施しました。その後、第3回「2013年度夏-秋季」から3級が、第6回「2015年度春季」から2級が加わりました。級が上がるにつれて、出題候補数や出題項目が増えていきます。

名前を覚えることは、草花の性質、生態、さらには栽培や花壇デザインに関する知識・技術の習得への入り口になります。受験に際して学歴や年齢制限等はありません。趣味として園芸を楽しむ方はもちろんのこと、ガーデナーや造園家を目指す方々も、勉強の目標として是非ご活用ください。多くの方が花壇を訪れ、草花をよく観察し、その正しい名前を覚えていただけることを願っています。

### 1. 恵泉草花検定概要

#### 1) 年間の検定実施回数と認定証の発行

検定は草花が咲く時期によって「春季」と「夏秋季」の2季に分けて実施しています。毎年一回ずつ、9月に「春季」、3月に「夏秋季」を行っています。

「春季」と「夏秋季」の両方を合格すると、その級が認定されます。ご希望の方には、有償で認定証を発行いたします。なお、1級の検定試験につきましては、来年度以降に順次実施していく予定です。

#### 2) 出題形式

各級の出題候補の植物種類数、出題数、出題内容および合格の基準を下記の表に示しました。2季とも同じ形式で試験を行います。各級の出題候補の植物に関する情報は、大学公式サイトに掲載しています。(「恵泉草花検定」で検索してください)

<http://www.keisen.ac.jp/extension/research/gardening/examination/kusabana/>

なお、2014年度夏秋季から、分類を新エングレー体系からAPGの分類体系に変更しました。それに従い、出題候補植物リストも、植物名の五十音順から分類(科)順に配列しなおしました。ただし、当分の間、変更前の旧科名でも正解とします。

#### 3) 試験方法

各級の出題候補の中から植物の写真が提示され、それに該当する植物名や科名を記入していただきます。解答に際して、「和名」、「科名」、「学名」、「英名」は大学公式サイトに提示された名称とします。

(表) 各級の出題形式と合格基準

選定植物、植物名等は、定期的に見直します。

級	テーマ	総出題候補種類数	各季の出題候補種類数	各季の出題数	出題内容	合格の基準
5	これだけは ぜひ知って欲しい草花	40	20	20	「和名」	90%以上の正解
4	暮らしの中の身近な草花	80	40	25	「和名」	90%以上の正解
3	ガーデナーへの入り口 コミュニティーガーデンの リーダーを目指して	160	80	40	「和名」、「科名」	90%以上の正解
準2	草花を通して広がる	160	80	40	「和名」、「科名」、「英名」	80%以上の正解
2	海外への扉				「和名」、「科名」、「英名」、「学名」	
1	これがとれば 草花プロフェッショナル	240	120	40	「和名」、「科名」、「英名」、「学名」	80%以上の正解

## 2. 2015年度夏秋季実施概要（5・4・3・2級共通）

### 1) 日時

2016年3月12日（土）

（※入室の時間内に試験会場に入室・着席して下さい。試験の説明をはじめます。

試験開始後は入室できません。）

級	受付	入室	試験説明	試験時間
5、4	9：00～9：45	9：00～9：45	9：45～10：00	10：00～10：15
3				10：00～10：30
準2、2				10：00～11：00

### 2) 試験会場

恵泉女学園大学 J 棟 202 教室

### 3) 実施する級

「夏秋季」5級、4級、3級、準2級、2級（いずれかひとつの級を選択してください）

### 4) 申込締め切り

2016年3月2日（水）必着

### 5) 検定料

【一般】5級・4級1,000円、3級2,000円、準2級・2級3,000円

【恵泉女学園の学生・生徒】5級・4級500円、3級1,000円、準2級・2級1,500円

### 6) 合格発表

2016年3月24日(木)から4月6日(水)まで大学公式サイトで、合格者の受験番号を発表します。発表後、合格者のみに通知書を送ります。

## 3. 申込・支払い方法および問い合わせ先

### 1) 申込用紙を大学公式サイトからダウンロードするか、または、大学研究機構事務室にて入手し、次の方法でお申し込みください。

- ・ eメールに添付して送付：[engei@keisen.ac.jp](mailto:engei@keisen.ac.jp)
- ・ FAXで送付：[042-376-8634](tel:042-376-8634)
- ・ 郵送：[〒206-8586 東京都多摩市南野 2-10-1 恵泉女学園大学 園芸教育室\(担当 菊地\)](mailto:〒206-8586 東京都多摩市南野 2-10-1 恵泉女学園大学 園芸教育室(担当 菊地))
- ・ 大学に持参：[大学研究機構事務室\(公開講座受付窓口\)](#)にご提出ください。  
\* ご提出いただいた個人情報は、草花検定に関する事務手続き以外には使用いたしません。

### 2) お申し込み後、3月2日までに、以下の方法で検定料をお支払い下さい。

【一般】お振込先：三菱東京UFJ銀行 世田谷支店 普通 0622578 学校法人恵泉女学園  
振込名義人は、[クバナ+お名前](#)（例 [クバナクイケンコ](#)）とご記入ください。  
お振り込み手数料は、ご本人様のご負担でお願い申し上げます。  
★多摩市立グリーンライブセンターでお支払いいただくこともできます。

【恵泉女学園の学生・生徒】学生は3月10日までに、大学庶務課会計にて支払ってください。  
生徒は3月2日までに、一般の方と同様にお支払いください。

### 3) お申し込み及びお支払いされた方には、受験票をお送りします。受験票が前日までに届かない場合は、eメールかFAXで上記のアドレス・番号にお問い合わせください。

## 4. 当日の持ち物

筆記用具、受験票（恵泉女学園の学生は学生証、生徒は生徒手帳をお持ちください。当日受付で受験票を渡します。）